

## 診療最前線

### 総合診療科

「地域包括ケアシステム」の一員としてみなさんの生活を支援します。心理・社会的問題も含めて、体の全臓器・全不調について対応!!



総合診療科スタッフ

「総合診療科」は比較的新しい診療科の一つです。私たちの診療は臓器別ではなく、みなさんの不調の訴えから健康問題を捉えていきます。患者さんへの詳細な問診と系統立った身体診察により病態や問題点を把握し、最適な治療を提供しています。

検査方針や治療方針は、医学的な必要性や優先順位、その他必要経費や手間など複合的な情報を提供し、患者さんとの話し合いで決定します。場合により専門医との連携についてもアドバイスしています。このような診療プロセスは総合診療科に限ったことではありませんが、心理・社会的問題も含めて、体の全臓器・全不調について対応するのが総合診療科の特徴です。

### 連携のスペシャリスト

現在の高齢化社会では、不調の問題解決のため、患者さんを取り巻く生活背景についても介入が必要な場合が増えています。治療上、社会的背景に介入が必要と判断した場合は、速やかに院内のソー



総合診療科医師による訪問診療

シャルワーカーや訪問看護ステーションなどと連携をとります。治療と並行して介護申請・訪問サービス（訪問看護・訪問リハビリ）をお勧めする場合があります。院内外提案する場合もあります。院内外を含めて、医療だけでなく、福祉・行政と幅広い連携支援体制が速やかに構築できるのも総合診療科の診療の特徴です。

私たち「総合診療科」は、地域のみなさんが住み慣れた地域で人生の最期まで暮らしていけるよう医療の側面からみなさんの生活をお手伝いしています。

### 生活習慣病の継続的な診療

総合診療科では、生活習慣病（糖尿病・肥満・脂質代謝異常症・高血圧症）の診療にも力を入れていきます。生活習慣病は正しく治療し、適切な治療効果を得られないと、脳卒中や心筋梗塞などを生じ、生活の質を低下させてしまいます。生活習慣病の克服には薬剤治療が欠かせませんが、それだけでは克服できません。より望ましい生活への生活改善（食生活・運動習慣・喫煙・飲酒など）が重要です。しかし、人間の生活行動はなかなか簡単には変わるものではなく、生活改善には総合診療科医師による医療行動科学（心理学）をふまえた診療が有効です。私たちは患者さ

症状に関する十分な情報を全人的に集め診断



患者の経験について十分知り「病のもつ意味」を理解



個人と家族や社会との関係パターンを観察し、患者の人生の枠組みを理解する中で治療する

総合診療科のアプローチ

当院の総合診療科は、日本内科学会指導医、日本プライマリ・ケア連合学会指導医、日本専門医機構認定指導医資格をもった複数医師体制で「訪問診療」「外来診療」「救急診療」「入院診療」「検診業務」「産業医活動」を行っています。



当院は臨床研修指定病院であり、日本専門医機構認定「総合診療専門医」養成プログラムも有しています。医学教育における総合診療科の役割は大きく、様々な基礎的臨床能力を磨き育てる場として実際の診療を医学生・研修医とともにを行っています。

### 後進の育成

んのやる気とモチベーションの、芽生え・育ち・実践・維持を応援する心理学的診療と薬物治療、栄養指導を組み合わせて診療を行っています。

### 総合診療科外来は

毎日受け付けしています！



各々の専門を活かし、連携したグループ診療を行っています

当院では毎日、総合診療科専門医が新患を受け入れる体制を整えています。特定の診療科宛の紹介状をお持ちでない方・初診の方には総合診療科の受診をお勧めしますが、紹介状がなくても受診は可能です。紹介状がなくとも医療機関を受診されている方は紹介状をお持ちいただくよりもスムーズな診療が可能です。ぜひ、かかりつけの先生にご相談ください（10ページ参照）。

（総合診療科部長 石津富久恵）